

創立40周年 特別企画

TRIAD

飯田善國・横文彦 / 二人展

in IIDA-KAN

2010年11月～2011年10月

主催：株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

協力：横総合計画事務所

企画・監修：横田 茂 ギャラリー

ごあいさつ

表情豊かな穂高の山並みのかたわら、豊かな自然とともに私たちは仕事を続けてまいりました。

そして、2000（平成12）年、創立30周年を迎えるに当たり、次の世紀に向けてさらに創造性の高い精緻な仕事をめざすため、私たちは新たな出発点を求めました。

私たちのめざす最高の精度の追求、そのための技術を探めるとき、私たちは豊かな感性が不可欠であると考えました。そうした強い意志や豊かな感性と出会える場所をつくりたい。こうした願いから生まれたのがこの建物「IIDA-KAN」です。この「IIDA-KAN」はその名前の示すように、飯田善國作品の常設館として建設致しました。

「IIDA-KAN」を含む三つの建物とその周辺は横文彦氏の作品として同氏により「TRIAD」と名命されました。

特別展 第I期の展示は、横文彦氏の「風の丘葬祭場」（1997）のスケールモデルなどほかと、飯田善國の若かりし時代の作品を中心とした展示でございます。

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

IIDA-KAN 外観



飯田善國（いいだ・よしくに）

1923（大正12）年、栃木県足利郡生まれ。慶應義塾大学高等部から応召（学徒出陣）し中国大陸へ。戦後は慶應大学に復学し西脇順三郎に師事。卒業後の1948（昭和23）年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。1956（昭和31）年、野上彌生子との縁でローマに留学しファッツィーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。後、ウィーンに移り1959年には抽象裸婦連作を描く。その後本格的に彫刻に転じウィーンやベルリンを拠点に活躍。

1967（昭和42）年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属と着色ロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で内外にひろく知られるほか、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。

2006（平成18）年没 [享年82歳]

SCREEN-CANYON



飯田善國・17歳（水彩）



IIDA-KAN 館内



横文彦（まき・ふみひこ）

1928（昭和3）年、東京生まれ。1952年、東京大学工学部建設学科卒業。丹下健三の研究室で外務省庁舎のコンペを担当した後、アメリカ合衆国に留学し、クランプルグ美術学院およびハーバード大学大学院建築修士課程修了。1954年に、スキッドモア・オーウィングズ・アンド・メリル、翌1955年には、セルト・ジャクソン建築設計事務所に勤務。その後はワシントン大学（セントルイス）とハーバード大学で都市デザインを講じた。

1965年に横総合計画事務所を設立。1979年-1980年に東京大学教授を務めた。戦後モダニズム建築の正統的な建築家と評されている。

主な建築作品に「代官山集合住宅（ヒルサイドテラス）」「名古屋大学豊田講堂（日本建築学会賞）」「幕張メッセ（BCS賞・IAITAクォーター賞）」「風の丘葬祭場（BCS賞）」「グランドゼロ・タワー4」など。

1993年には建築界のノーベル賞に例えられるプリック賞を受賞。



風の丘葬祭場・大分県中津市

IIDA-KANは原則として午前10時～午後4時まで、ご来館者に応じて開館します。展示は基本的に常設といたしますが、随時展示替えを予定しておりますので、展示内容につきましてもお問い合わせ下さい。

●JR大系線穂高駅（一部特急停車）下車、「ハーモニックドライブ」を目的地に タクシーをご利用されることをおすすめします。（約15分）

●お車でのご来館の場合は、長野自動車道豊科インターより県道495号、25号 経由約20分。詳しくは 弊社ウェブサイト の地図をご覧ください。

長野県安曇野市穂高牧1856-1
〒399-8305 TEL 0263-83-6800（代）
株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ穂高工場内
<http://www.hds.co.jp>